

修正内容

第3期伊勢市環境基本計画（案）

No	頁	行	修正前	修正後	修正事由
1	2	下 1	<p>三重県では、環境の保全に関する施策を総合的に進めていくために2012年3月に「三重県環境基本計画」を策定し、その後の環境問題を取り巻く状況の変化から、2020年●月に改定されました。</p> <p>新たな「三重県環境基本計画」では、多様な主体間の協創を通じて、分野横断的なアプローチにより、環境、経済、社会の統合的な向上が実現している社会をめざし、2050年度におけるめざすべき姿として「自律的かつレジリエント（強靱）な、より高位の持続可能な社会」が掲げられています。また、バックキャスティングの考え方（めざすべき姿を規定し、そこから逆算して考える手法）に基づいて、2050年度における長期目標をもとに、計画の目標年度である2030年度にめざすべき姿「スマート社会みえ（仮称）」を掲げられています。</p> <p>「スマート社会みえ（仮称）」を実現するための施策については、計画の基本方針に基づき、「Ⅰ 低炭素社会の構築」、「Ⅱ 循環型社会の構築」、「Ⅲ 自然共生社会の構築」、「Ⅳ 生活環境保全の確保」に加え、各施策を推進していくための基盤として、“エンジン（駆動力）”となるような「Ⅴ 共通基盤施策」の5本を柱として推進していくこととされています。</p>	<p>三重県では、環境の保全に関する施策を総合的に進めていくために2012年3月に「三重県環境基本計画」を策定し、その後の環境問題を取り巻く状況の変化から、2020年●月に改定されました。</p> <p>新たな「三重県環境基本計画」では、多様な主体間の協創を通じて、分野横断的なアプローチにより、環境、経済、社会の統合的な向上が実現している社会をめざし、2050年におけるめざすべき姿として「自律的かつレジリエント（強靱）な、より高位の持続可能な社会」が掲げられています。また、バックキャスティングの考え方（めざすべき姿を規定し、そこから逆算して考える手法）に基づいて、2050年度における長期目標をもとに、計画の目標年度である2030年度にめざすべき姿「スマート社会みえ」を掲げられています。</p> <p>「スマート社会みえ」を実現するための施策については、計画の基本方針に基づき、「Ⅰ 低炭素社会の構築」、「Ⅱ 循環型社会の構築」、「Ⅲ 自然共生社会の構築」、「Ⅳ 生活環境保全の確保」に加え、各施策を推進していくための基盤として、“エンジン（駆動力）”となるような「Ⅴ 共通基盤施策」の5本を柱として推進していくこととされています。</p> <p>また、2019年12月15日、脱炭素社会の実現に向け、2050年まで</p>	庁内検討

				<p><u>に県域からの温室効果ガスの排出量を実質的にゼロとすることを目指す「ミッションゼロ 2050 みえ」が宣言され、2020 年度には、新たな「三重県環境基本計画」を踏まえた「三重県地球温暖化対策総合計画（仮称）」が策定される予定です。</u></p>	
2	31	上 5	<p>「<u>伊勢市を美しくする条例</u>」に基づく空き缶やたばこの吸い殻のポイ捨て防止対策等の快適な環境づくりの実施</p>	<p>「<u>伊勢市ポイ捨て及び路上喫煙の防止に関する条例</u>」に基づく空き缶やたばこの吸い殻のポイ捨て防止対策等の快適な環境づくりの実施</p>	庁内検討
3	31	下 3	<p>路上喫煙<u>禁止区域指定</u>の検討</p>	<p>路上喫煙を<u>禁止する区域</u>の検討</p>	庁内検討